

# GC FX 3

## 安全データシート

JIS Z 7253:2012

作成日:2020年04月08日

改訂日::2020年04月08日

前回の改訂日:

バージョン:1.0

### 第1項: 化学品及び会社情報

#### 1.1. 製品名

一般名	GC FX 3
製品コード	BU Direct Fastening

#### 1.2. 物質または混合物について、特定された関連用途、および推奨できない用途

物質/混合物の用途	ガス缶はHilti FX 3-Aツール専用です。
推奨用途	業務用用途に限る。

#### 1.3. 安全データシートを提供する供給業者の詳細

<b>仕入先</b>	<b>安全データシート発行部門</b>
日本ヒルティ株式会社	Hilti Entwicklungsgesellschaft mbH
神奈川県横浜市都筑区茅ヶ崎南2-6-20	Hiltistrasse 6
〒224-8550 〒 - 日本	86916 Kaufering - Deutschland
T +81 45 943 6211 - F +81 45 943 6418	T +49 8191 906310 - F +49 8191 90176310
<a href="mailto:hiltijapan@hilti.com">hiltijapan@hilti.com</a>	<a href="mailto:df-hse@hilti.com">df-hse@hilti.com</a>

#### 1.4. 緊急連絡電話番号

緊急連絡電話番号	Schweizerisches Toxikologisches Informationszentrum – 24h Service
	+41 44 251 51 51 (international)
	+81 45 943 6211

### 第2項: 危険有害性の要約

#### 物質/混合物の分類

GHS分類	
物理的危険性	高圧ガス 圧縮ガス
危険有害性情報の全文: 第16項を参照	

# GC FX 3

## 安全データシート

JIS Z 7253:2012

### ラベル要素

国連GHS(改訂4版、2011年)に準ずるラベル

絵表示 (GHS JP)



GHS04

注意喚起語 (GHS JP)

警告

危険有害性情報(GHS JP)

高圧ガス：熱すると爆発のおそれ (H280)

安全対策

使用後を含め、穴を開けたり燃やしたりしないこと。(P251)

保管

乾燥した場所に保管すること。(P402)

換気の良い場所で保管すること。(P403)

日光から遮断し、50℃を超える温度にばく露しないこと。(P410+P412)

### その他の危険

分類に寄与しないその他の危険有害性

高濃度で窒息.

他の危険有害性

高濃度で窒息.

## 第3項：組成及び成分情報

### 3.1. 物質

非該当

### 3.2. 混合物

名前	濃度	化学式	官報公示整理番号	CAS 番号
			化審法番号	
二酸化炭素、圧力下、液化	10 - 25%	CO <sub>2</sub>	(1)-169	124-38-9
アルゴン、圧縮	>= 80%	Ar		7440-37-1

危険有害性情報の全文：第16項を参照

# GC FX 3

## 安全データシート

JIS Z 7253:2012

### 第4項：応急措置

#### 応急措置

応急措置 一般	高濃度で窒息。被災者に意識がない場合は、口から何も与えないで下さい。 気分が悪い場合は医師の診察を受けて下さい。可能であれば絵表示を見せて下さい。
吸入した場合	高濃度で窒息の原因となることがある。運動能力または意識の喪失といった症状が含まれることがある。被災者は窒息の可能性を検知できないことがある。 自給式呼吸装置を着用して非汚染エリアに被災者を移動させる被災者は保温し、安静を保つ医師の診察を受けさせる呼吸停止した場合は人工呼吸を施す。 微量の濃縮二酸化炭素で呼吸促進および頭痛を引き起こす。
皮膚に付着した場合	汚染された衣服は脱衣し、ばく露した皮膚は、まずマイルドソープと水で洗い、その後ぬるま湯ですすぐ。皮膚は多量の水で洗浄する。
眼に入った場合	直ちに大量の水で洗浄する。予防措置として眼を水ですすぐ。
飲み込んだ場合	口をすすぐこと。無理に吐かせないこと。直ちに医師の診察を受ける。 気分が悪いときは医師に連絡すること。

#### 急性症状及び遅発性症状の最も重要な兆候及び症状

症状/損傷	通常の使用条件下では、重大な危険有害性はないと思われる。
症状/損傷 吸入した場合	呼吸困難。

#### その他の医学的アドバイスまたは治療

対症的に治療すること。

### 第5項：火災時の措置

適切な消火剤	製品自体は焦げません。周囲の火災に適した消火剤を使用。
爆発の危険	高圧ガス：熱すると爆発のおそれ。
火災時の危険有害性分解生成物	
消火方法	火災の場合：安全に対処できるならば漏えい（洩）を止めること。 容器を安全な場所から水噴霧で冷却する。
消火時の保護具	推奨される個人用保護具を着用する。

# GC FX 3

## 安全データシート

JIS Z 7253:2012

### 第6項：漏出時の措置

#### 人体に対する注意事項、保護具および緊急時措置

##### 非緊急対応者

応急処置 区域より退避させること。漏出エリアを換気する。

##### 緊急対応者

保護具 適切な保護具を着用して作業する。

応急処置 漏出した場所を換気する。

#### 環境に対する注意事項

環境への放出を避けること。

#### 封じ込め及び浄化の方法及び機材

浄化方法 十分に換気すること。

### 第7項：取扱い及び保管上の注意

#### 安全取扱注意事項

安全取扱注意事項 作業所の十分な換気を確保する。  
加圧容器：使用後でも、穴を開けたり燃やしたりしないでください。  
破損したバルブは直ちにサプライヤーに報告してください。破損したシリンダーは専門家によって取り扱われるべきです。  
使用説明書を順守する。

衛生対策 この製品を使用するときに、飲食又は喫煙をしないこと。  
製品取扱い後には必ず手を洗って下さい。

#### 保管

安全な保管条件 50 °C 以下の温度で保管すること。  
日光から遮断し、換気の良い場所で保管すること。  
涼しいところに置くこと。  
乾燥した場所に保管すること。

混触禁止製品 強酸、強塩基、可燃性物質。

混触禁止物質 発火源、直射日光、熱源。

# GC FX 3

## 安全データシート

JIS Z 7253:2012

保管温度 -20 - 50 °C

### 第8項: ばく露防止及び保護措置

設備対策	作業所の十分な換気を確保する。 圧力がかかっているシステムは、漏れがないか定期的にチェックする必要があります。
個人用保護具	不必要なばく露を避ける。
眼の保護具	保護メガネ。
環境へのばく露の制限と監視	労働安全衛生実務に従って使用すれば、特定または特殊な対策を必要としない。 環境への放出を避けること。
消費者のばく露の制限および監視	妊娠中／授乳期中は接触を避けること。
その他の情報	使用中は飲食かつ喫煙を避けて下さい。

### 第9項: 物理的及び化学的性質

#### 物理的および化学的な基礎物性に関するデータ

物理状態	気体
色	無色
臭い	無臭
臭気閾値	データなし
pH	区分に該当しない(分類対象外)
蒸発速度 (酢酸ブチル = 1)	データなし
融点	データなし
凝固点	データなし
沸点	データなし

# GC FX 3

## 安全データシート

JIS Z 7253:2012

引火点	区分に該当しない(分類対象外)
自然発火点	区分に該当しない(分類対象外)
分解温度	データなし
可燃性	不燃性
蒸気圧	データなし
相対蒸気密度 (20 °C)	データなし
相対密度	データなし
溶解度	データなし.
Log Pow	データなし
動粘性率	データなし
動粘度	データなし
爆発特性	
酸化特性	区分に該当しない(分類対象外)
爆発限界	データなし

### その他の情報

ガスの種類	圧縮ガス
その他の性質	空気より重いガスまたは蒸気。閉鎖環境、特に地下において蓄積することがある。

### 第10項: 安定性及び反応性

反応性	通常の使用、保管、運送の状況下では、当製品は反応しません。
化学的安定性	通常の条件下では安定
危険有害反応可能性	通常の使用条件下において、危険な反応は全く知られていない。
避けるべき条件	直射日光, 極度に高温または低温, 湿度
混触危険物質	
危険有害な分解生成物	通常の使用条件及び保管条件下において、有害な分解生成物は生成されません。
その他の性質	

# GC FX 3

## 安全データシート

JIS Z 7253:2012

### 第11項: 有害性情報

潜在的な健康有害性及び症状

追加情報なし.

急性毒性 (経口)

急性毒性 (経皮)

急性毒性 (吸入)

皮膚腐食性/刺激性

pH: 区分に該当しない(分類対象外)

眼に対する重篤な損傷性/眼刺激性

呼吸器感受性又は皮膚感受性

生殖細胞変異原性

発がん性

生殖毒性

特定標的臓器毒性(単回ばく露)

特定標的臓器毒性(反復ばく露)

誤えん有害性

GC FX 3	
人体を用いた判定	いいえ
液化しない	いいえ
炭化水素	いいえ
多環芳香族炭化水素	いいえ
脂肪族、脂環式または芳香族炭化水素	いいえ

### 第12項: 環境影響情報

#### 毒性

生態系 - 全般

本物質は水性生物に対して有害とは考慮されず、また、環境に対しても長期的な有害な影響を及ぼさない。

水生環境有害性 短期 (急性)

# GC FX 3

## 安全データシート

JIS Z 7253:2012

水生環境有害性 長期（慢性）

その他の情報

環境への放出を避けること。

carbon dioxide, liquefied, under pressure (124-38-9)	
LC50 魚 1	35 mg/l (96 h, Salmo gairdneri, Literature study, Lethal)

### 残留性・分解性

GC FX 3	
残留性・分解性	決定していない

carbon dioxide, liquefied, under pressure (124-38-9)	
残留性・分解性	Biodegradability: not applicable
化学的酸素要求量(COD)	Not applicable (inorganic)
ThOD	Not applicable (inorganic)

argon, compressed (7440-37-1)	
残留性・分解性	Biodegradability: not applicable
化学的酸素要求量(COD)	Not applicable
ThOD	Not applicable
BOD (ThODの割合)	Not applicable

### 生体蓄積性

carbon dioxide, liquefied, under pressure (124-38-9)	
Log Pow	0.83 (Experimental value)
生体蓄積性	Low potential for bioaccumulation (Log Kow < 4)

argon, compressed (7440-37-1)	
Log Pow	0.74 (Experimental value)
生体蓄積性	Low potential for bioaccumulation (Log Kow < 4)

### 土壌中の移動性

carbon dioxide, liquefied, under pressure (124-38-9)	
生態系 - 土壌	Not applicable (gas).

### その他の有害な影響

オゾン層への有害性

その他の有害な影響

追加情報なし



# GC FX 3

## 安全データシート

JIS Z 7253:2012

### 第13項：廃棄上の注意

推奨製品/梱包処分	国、地域の規制に準拠して廃棄すること。
廃棄方法	許可を得た収集業者の分別回収に準拠して内容物/容器を破棄すること。
汚染容器及び包装	

### 第14項：輸送上の注意

欧州危険物鉄道輸送規制 / 欧州危険物道路輸送規制 / 国際海上危険物規制 / 国際航空運送協会に準ずる。

ADR	IMDG	IATA	RID
<b>14.1. 国連番号</b>			
1956	1956	1956	1956
<b>14.2. 国連正式品名</b>			
その他の圧縮ガス (アルゴン(Ar), 二酸化炭素 (CO2) 混合物)	COMPRESSED GAS, N.O.S. (Argon, Carbon dioxide mixture)	Compressed gas, n.o.s. (Argon, Carbon dioxide mixture)	その他の圧縮ガス (アルゴン(Ar), 二酸化炭素 (CO2) 混合物)
<b>輸送資料詳細</b>			
UN 1956 その他の圧縮ガス (アルゴン(Ar), 二酸化炭素 (CO2) 混合物), 2.2	UN 1956 COMPRESSED GAS, N.O.S. (Argon, Carbon dioxide mixture), 2.2	UN 1956 Compressed gas, n.o.s. (Argon, Carbon dioxide mixture), 2.2	UN 1956 その他の圧縮ガス (アルゴン(Ar), 二酸化炭素 (CO2) 混合物), 2.2
<b>14.3. 輸送危険物分類</b>			
2.2	2.2	2.2	2.2
<b>14.4. 容器等級</b>			
非該当	非該当	非該当	非該当
<b>14.5. 環境有害性</b>			
環境有害性：いいえ	環境有害性：いいえ 海洋汚染物質：いいえ	環境有害性：いいえ	環境有害性：いいえ
補足情報なし			

# GC FX 3

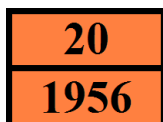
## 安全データシート

JIS Z 7253:2012

### 14.6. 使用者向け特別な安全対策

#### - 道路輸送

分類コード (ADR)	1A
特別規定(ADR)	274, 655, 662
少量危険物(ADR)	120ml
包装要件(ADR)	P200
混合物包装規定 (ADR)	MP9
輸送カテゴリー	3
オレンジブラカード	



#### - 海上輸送

特別規定 (IMDG)	274
少量危険物(IMDG)	120 ml
包装要件(IMDG)	P200
緊急時計画番号(火災)	F-C
緊急時計画番号(流出)	S-V
積載区分 (IMDG)	A
緊急時応急措置指針番号	126

#### - 航空輸送

PCA包装要件(IATA)	200
特別管制区(PCA)最大積載量(IATA)	75kg
CAO包装要件(IATA)	200
特別規定(IATA)	A202

#### - 鉄道輸送

特別規定(RID)	274, 655, 662
少量危険物(RID)	120ml
包装要件(RID)	P200
輸送禁止(RID)	いいえ

# GC FX 3

## 安全データシート

JIS Z 7253:2012

### 14.7. MARPOL 附属書II 及びIBC コードによるばら積み輸送される液体物質

#### 国内規制

海上規制情報	船舶安全法の規定に従う。
航空規制情報	航空法の規定に従う。
その他の情報	補足情報なし

### 第15項: 適用法令

外国為替及び外国貿易法	輸出貿易管理令別表第1の16の項
船舶安全法	高圧ガス・非引火性非毒性高圧ガス（危規則第2, 3条危険物告示別表第1）
航空法	高圧ガス・非引火性非毒性高圧ガス（施行規則第194条危険物告示別表第1）
港則法	その他の危険物・高圧ガス（法第21条第2項、規則第12条、危険物の種類を定める告示別表）
道路法	車両の通行の制限（施行令第19条の13、（独）日本高速道路保有・債務返済機構公示第12号・別表第2）
高圧ガス保安法	圧縮ガス（法第2条1） 液化ガス（法第2条3） 不活性ガス（一般高圧ガス保安規則第2条4）

### 第16項: その他の情報

JIS Z 7253 : 2012に準ずる

SDS\_JP\_Hilti

本書は、あくまで本製品の健康、安全性、環境への配慮等に関わる情報のみを、現在の知見に基づき記載するものであり、製品に関する何らかの特性を保証するものではない。